

プロジェクトシート

重点戦略	暮らしを支える安心戦略
プロジェクト	地域コミュニティ再生プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目標	地域の住民同士が力を合わせて地域づくりや防犯・防災等に取り組むことにより、人と人がつながり合うあたたかな地域コミュニティの再生を図ります。
重点的取組	<ul style="list-style-type: none"> ☆住民による地域コミュニティの再生 ☆住民の助け合いによる防犯・防災の促進 ☆地域の移動手段の確保

2 成果指標等の状況

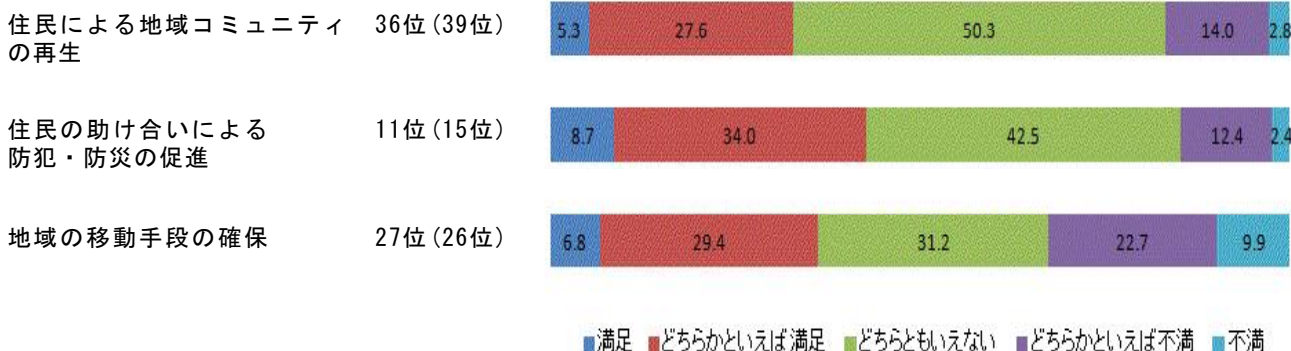
成果指標	基準 ・全国平均 ・全国順位	H22	H23	H24	H25	H26	目標 H27
① 自主防災組織世帯カバー率	85.4% (H21) 73.5% 10位	84.8%	87.8%	86.5%	85.3%		90.0%
出典：総務省消防庁消防白書	達成見込						
② 移動不便地域における生活交通カバー率	4.0% (H22)	5.6%	23.0%	41.8%	50.9%		33.3%
出典：県県土整備部調べ	達成見込	—					

(注) 目標達成見込の判断 : 概ね順調 : やや遅れている : 遅れている

【成果指標の分析】

- ① 自主防災組織の育成等に取り組む市町村に対する支援のほか、講演会や各種研修会の開催、手引きの作成等により防犯・防災活動への参加を働きかけていますが、目標達成に向けて遅れが生じています。
- ② 市町村による生活交通の再構築に向けた取組に対し、事業費補助等の支援等を行った結果、移動不便地域における生活交通カバー率が上昇しており、目標を達成しています。

【平成25年度県民満足度調査結果】



※順位は、「満足」及び「どちらかといえば満足」と回答した割合をもとに順位付けした。()内は前年度の順位。

3 主な取組成果

【成 果】
<p>☆住民による地域コミュニティの再生</p> <p>○地域づくりの中核を担う人材の育成 ○多様な主体の協働による地域の課題対応</p>
<p>《主な取組》</p> <p>①中山間地域における住民による課題解決のためのモデル的な取組への支援 「里の“守”サポート事業」の活用により、地域の課題解決に向けた実施計画が県内3地区で策定されたほか、これまで策定された計画に基づき、県内6地区で実践活動が実施されました。また、地域の活動をサポートする里の“守”支援員を配置したほか、市町村の独自事業として、地域おこし協力隊員が配置されました。 さらに「里の“守”サポート事業」の取組紹介番組において取組事例を広く発信し、関係者の意識向上を図りました。</p> <p>②地域の自立に向けたコミュニティ活動への支援 栃木県コミュニティ協会が実施するコミュニティリーダーの養成講座や地域コミュニティ活動促進のための研修会等を支援したことにより、コミュニティリーダーの人材育成やコミュニティ活動の活性化を図りました。 また、「地域版プラットフォーム事業」等の協働事業の成果を取りまとめ、モデル事例集の作成や事例報告会を開催したことにより、地域の課題解決に向けての意識の向上を図りました。</p>
<p>☆住民の助け合いによる防犯・防災の促進</p> <p>○日常的な防犯・防災活動の促進</p>
<p>《主な取組》</p> <p>①県民の防犯・防災意識の高揚 交通・生活安全安心県民大会を開催し、93の自主防犯団体に感謝状を贈呈したほか、ラジオによる普及啓発を行うとともに、一般県民を対象に、日常の備えや災害時の対応などをテーマとした出前講座や講演会（7会場・計750名参加）を開催し、自主防犯防災意識の高揚を図りました。また、地域安全情報メールの利用を県警ホームページ、市町村の広報紙などに掲載した結果、受信登録者は、前年比で約9千人（9.4%）増加し、合計で約10万6千人となりました。</p> <p>②自主防犯・防災活動への参加促進 「ぼうはんカレッジ」（下野市・修了者19名）や「安全で安心なまちづくり地域交流会」（3地区224名参加）を開催し、自主防犯活動への参加促進を図りました。 また、自主防災組織の活動を支援するため、「避難所運営訓練セット」を配布しました。</p>
<p>☆地域の移動手段の確保</p> <p>○地域における移動手段の確保に向けた取組の推進</p>
<p>《主な取組》</p> <p>①路線バス等でカバーされていない地域におけるデマンド交通等の導入促進 「県生活交通対策協議会」で生活交通の改善・充実にに向けた取組方針等の意見交換を行うとともに、市町村による生活交通の再構築に向けた取組に対し、事業費補助や各種助言を行った結果、生活交通再構築やデマンド交通導入の取組が拡大しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通再構築事業（実証運行）：2市・10系統（H22）→6市町・42系統（H25） ・デマンド交通運行：9市町・26地区（H22）→23市町・65地区（H25）